

所 属 赤碕町漁業協同組合

氏 名 はやしばら ひろき
林 原 弘 輝 (37 歳)

船 名 こうしゅんまる だいごほくようまる
弘 春 丸 4.9 トン、第五北 洋 丸 6.6 トン

漁業種類 刺網、釣り



～こつこつ真面目な漁師さん～

15 年前に発行された本紙 Part. 1 に母親の洋子さんとともに写真に写る林原さんの姿があった。林原さんの両親は夫婦で操業しており、息子の弘輝さんももちろん漁師となった。父親と「家族経営協定」を県下の漁家で一番に結んだ。高校卒業後、19 歳で漁業の世界に入った。趣味は釣り。趣味の延長で漁師になったというが、漁師の先輩である父親に“サワラ釣りの腕は負ける”と言わせるのだから相当上手いのだろう。はじめは遠洋カツオ漁船で 1 年間働いたが、自分の力で漁業をやっていきたいと考え、一人で漁に出ることを決心した。

「漁師は自分次第、がんばった分だけ結果につながる」と林原さんは語る。夏はイカ釣り、秋はサワラ、冬は刺し網で様々な魚種を狙う。また、林原さんは漁業士でもある。魚を多くの人に食べてもらうため、魚さばき方教室をはじめとした魚食の普及活動、さらに、漁場を守るための森林保全活動にも取り組み、資源管理についても興味がある。本当にまじめな漁師さんだ。

～ちょっと意外な一面も～

私取材で赤碕町漁協を訪ねた時、林原さんは漁具倉庫で網直しに精を出していた。休日の過ごし方を尋ねると、網直しや道具作りとのこと。「まじめな漁師さんだなあ」と思った。そんな林原さん、実は釣りのほかにも趣味があり、それがアニメ。アニメといえども奥が深いのだと熱く語っていた。

(文責：西村 美桜)